

第1回京都市立芸術大学新キャンパス隣接地（将来活用地）の活用に係る契約候補事業者選定委員会 摘録

《日時》

令和5年2月28日（火）午後2時～

《場所》

下京いきいき市民活動センター 3階 集会室

《出席者》

（敬称略・五十音順）

氏 名	職 名 等
池田 正治	崇仁自治連合会 副会長
乾 久美子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門 教授 乾久美子建築設計事務所 主宰
遠藤 彩音	市民公募委員
鈴鹿 可奈子	株式会社聖護院八ッ橋総本店 専務取締役
宗田 好史	関西国際大学 国際コミュニケーション学部観光学科 教授
山内 裕	京都大学経営管理大学院 教授
山田 陽子	山田陽子事務所、公認会計士・税理士

《摘録》

1 開会、挨拶

2 委員の紹介、趣旨説明

3 委員長の選任

○山田委員の推薦により、宗田委員が委員長に就任

◆宗田委員長

京都芸大の移転は京都市内のみならず、全国、世界から注目されている。その京都芸大の隣接地に、世界に発信するどんな拠点ができるか楽しみである。皆様の意見を賜りながら、胸を張ってよい選考をしたと言えるように、議論を尽くしたいのでよろしくお願いします。

○宗田委員長により、山内委員を職務代理者に指名

4 審議

（1）募集要項（案）について 公開部分

○資料4に基づき、事務局から説明

○質疑応答・意見交換

◆山田委員

地下埋設物の撤去費用は事業者が負担することになっているが、何か埋まっている可能性はあるのでしょうか。

◆事務局

土地の履歴が確認できる地歴調査資料等を「基礎資料」として、要望に応じて事業者に提供することとしている。この場所はもともと市営住宅が建っており、その前は住居等があった。

◆宗田委員長

周知の埋蔵文化財包蔵地に指定されており、何か出てくるかもしれないが「現在のところ、京都芸大C地区では発掘調査が必要な状況でない」ということですね。

◆事務局

契約不適合責任について、基本的には免責としているが、土地引渡し後2年以内に申し出があり、本市の責任が明らかであるものについては、合理的な範囲で本市が負担することを記載している。

◆山田委員

土壌汚染の状況は如何でしょうか。

◆事務局

埋蔵文化財と同様に、土壌汚染についても、隣接する京都芸大C地区では現在のところ、確認されていない。

(～午後2時30分)

(2) 審査項目及び審査基準(案)について 非公開部分 (午後2時40分～)

5 閉会(～午後3時45分)